



2019年1月4日

各位

## 新年のご挨拶

みなさま、あけましておめでとうございます。

2018年は、当社の歴史上実に重要な年となりました。まず、当社の主要医薬品であるアイスーリュイの中国における売上が引き続き大幅に増大し、保険適用が進んだ結果、より多くの経済的に恵まれない特発性肺線維症患者様に、当社の救命薬をお届けできるようになりました。また、中国における専任営業チームの人員も倍増しました。当社グループの次のブロックバスターとなりうる肝線維症治療薬F351については、中国の第2相臨床試験を審査する独立データモニタリング委員会よりポジティブな勧告を受領し、米国においても第1相臨床試験を完了いたしました。F351が承認されれば、何百万人もの肝疾患患者の皆様にとって、世界で初めての治療薬となります。また、アイスーリュイの更なる売上増大とF351の承認取得の可能性に備え、中国河北省滄州における新工場建設を進めており、2019年の上半期には生産が開始出来るようになる予定です。

当社グループが保有する他のパイプラインについても、2018年に進展が見られました。F573の急性肝不全・慢性肝不全急性化治療薬としての治験許可（IND）申請に対して、中国国家食品薬品監督管理総局より承認を取得し、また、アイスーリュイの結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）に関する第3相臨床試験を中国において開始いたしました。一方、将来を見据え、当社の新薬開発能力に対する重要なコミットメントとして、革新的な低分子標的タンパク質分解誘導技術を活用した創薬研究活動を行うCullgenへの投資を行いました。Cullgenは、当社グループが過去17年かけて探索した新規化合物数よりも多数の有力化合物を、2018年一年で発見しております。我々は、CullgenがIND申請に必要な試験を2019年に開始し、その研究範囲を更に広げることを期待しています。Cullgenの創薬プラットフォームは、当社グループが過去10年かけて作り上げてきた低分子化合物の開発力と完璧な組み合わせです。

私は当初より、GNIをグローバル市場において自ら持続的に成長できる会社にすることを目標として参りましたが、2018年においては、そのゴールに向け確かな前進をしたと思います。我々は、Berkeley Advanced Biomaterial LLC (BAB)の当社グループへの統合をスムーズに完了しました。BABが当社グループにとって安定的な収益源として貢献してくれるようになったことにより、将来金融市場の混乱が発生しても、それを耐え抜くことができるでしょう。また、Irisys, LLCとCullgenへの投資によって、カリフォルニアとサンディエゴにおいて強固な拠点が構築され、潜在的な市場リスクにも耐えうる地域的な多様性を得ることができました。

2018年12月期は、2期連続で営業利益の黒字化を達成出来るものと期待しております。この成果は、収益性対研究開発コストのバランスの取れた戦略と、当社従業員による、事務コストを最低限のレベルまで引き下げる努力に基づいています。勿論、株主の皆様のご支援とご理解は、この戦略を成功裏に実行するための鍵です。株式市場のパフォーマンスにもかかわらず、当社グループおよび役職員一同は2018年の目標を達成し、グローバル製薬業界におけるより先進的かつ強固な競合者としての新年を迎えました。

今後も、当社グループは医薬品販売による力強い成長、最先端創薬技術、そして多様な収益構造による安定という3つの柱に支えられることとなるでしょう。これらの柱が、今後、我々が新たな挑戦に立ち向かい、また、与えられた機会を活かすことにつながります。中国におけるアイスーリュイの継続的な売上増大と承認待ちのパイプラインがあることで、当社の将来は今までにまして明るいと言えます。

現時点において、私は、当社グループの将来について、これまでになく楽観的でありますし自信を持っております。

引き続き皆様のご支援賜りますようお願い致します。末筆ながら新年のご多幸をお祈り申し上げます。

取締役代表執行役社長兼 CEO イン・ルオ